

「英国諸島の地史Ⅱ」

2018年度課題レポート:角間キャンパス地区の岩石

角間キャンパス北地区では、いろいろな岩石をみることができる。敷石だったり記念碑だったり、石垣の石だったりとその用途はさまざまだ。「英国諸島の地史」では、火成岩や堆積岩、変成岩といった岩石の種類や成因、それらの特徴などについて、授業中におおまかながらも解説した。

そこで、この講義の課題レポートとして、指定区域内(角間キャンパス北地区:別紙)で何かに用いられている火山岩(安山岩あるいは玄武岩)と深成岩(カコウ岩)をひとつずつみつけだし、発見した場所のスケッチ(周囲の建物などを入れて場所が具体的にわかるようにすること)と、岩石の拡大スケッチ(縮尺は解答用紙に記入してある)をとってもらいたい。スケッチにかわる写真の貼り付けは不可とする。さらに、それぞれの岩石を発見した場所を解答用紙2のキャンパス地図に矢印+岩石名で記入し、それぞれの岩石の観察結果などについて考察すること。

なお、海外にいるとき(10/28~11/2)はアカンサスポータルからのメッセージにはおそらく返答できないので、このレポートについての質問等があるときは必ず電子メール(アドレス下記)を用いること。

-----岩石について-----

地球上の岩石はその成因によって「堆積岩」、「火成岩」、「変成岩」に三区別される。「堆積岩」は地球表層で集積した物質がその後の続成作用(地下での圧力など)などによって固まったものであり、生成条件や構成物質にもとづき「碎屑性(砂や泥が固化したもの:砂岩や礫岩)」、「生物源(生物の硬質部などが固化したもの:石灰岩など)」、「水源(化学的沈殿物):岩塩や石膏など」に区別される。一般に、碎屑性堆積岩は構成粒子の大きさで、生物源および水源堆積岩は構成物質でさらに区別される。

一方、「火成岩」はマグマ(地下にある高温液状の岩石)が冷えて固まった岩石の総称であり、マグマが地表に噴出し急激に冷えて固まった「火山岩(玄武岩、安山岩など)」とマグマが地下深部でゆっくり冷えて固まった深成岩(カコウ岩など)の2つに分類される。火成岩は SiO_2 の含有量や有色鉱物の量、そして色指数などによってさらに細分される。

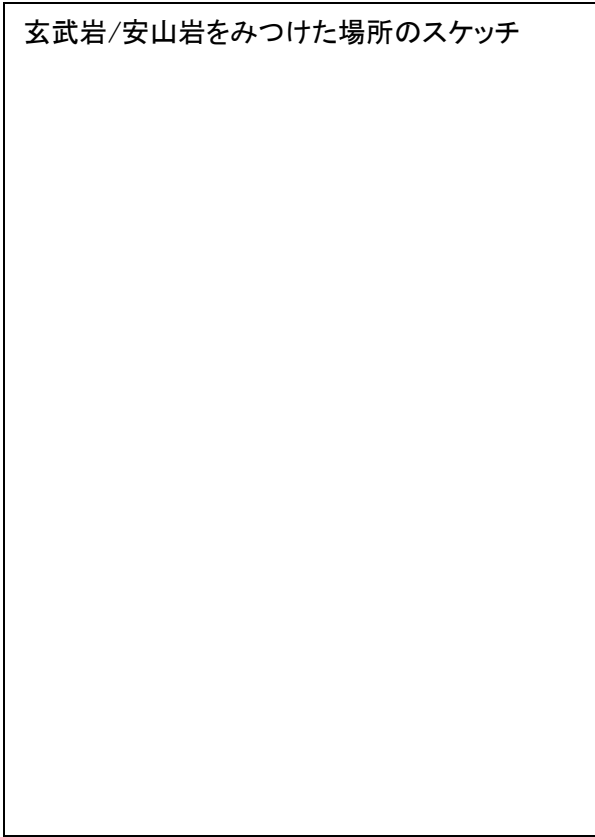
「変成岩」は堆積岩や火成岩(まれには変成岩・・・これらをまとめて「源岩」と呼ぶ)が地下の高温・高圧のもとで変形・再結晶して別の岩石に変化したものであり、マグマの貫入などにもなう熱によってその周囲の岩石が変成する「接触変成岩(大理石など)」と、源岩が地下深部で高温高圧下にさらされ形成される「広域変成岩(片麻岩など)」とに区別される。いずれの変成岩も源岩の種類や被った熱や圧力などの条件によってさまざまな特徴を呈するようになり、それにもとづいて変成岩はさらに細分される。

注意事項とお知らせ

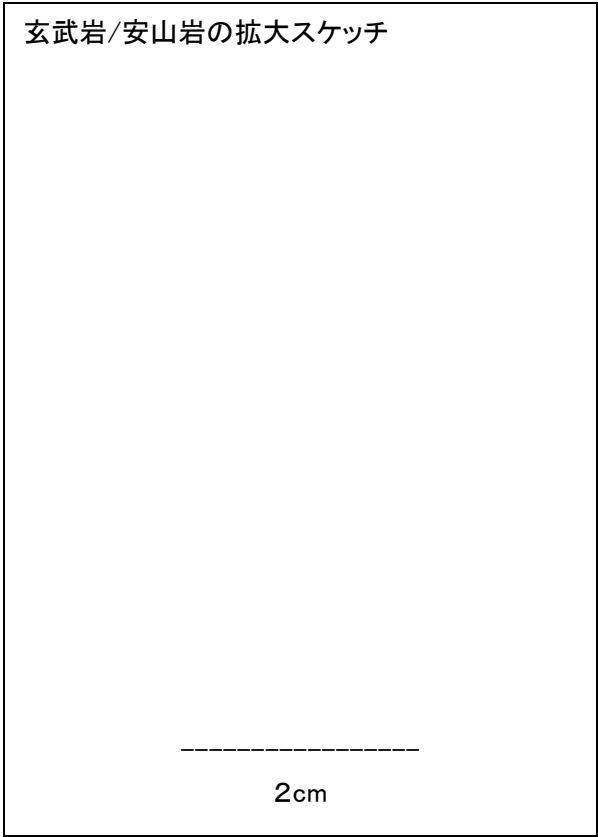
1. キャンパス内なのでクマにもスズメバチにも会わないと思うが、友人に会ってしまったらレポート作成中なのでさりげなく無視すること。講義室近くでのおしゃべりはくれぐれもつつむこと。
2. 岩石はカナヅチなどで絶対に叩かないこと。落書きもしてはならない。
3. そこらへんどころがっている石ころは観察対象とならない。対象は固定されたものに限る。
3. レポートは11月8日(木)の授業開始前に講義室にて受け取る。

学類	学年：	学籍番号：	氏名：
----	-----	-------	-----

玄武岩/安山岩をみつけた場所のスケッチ

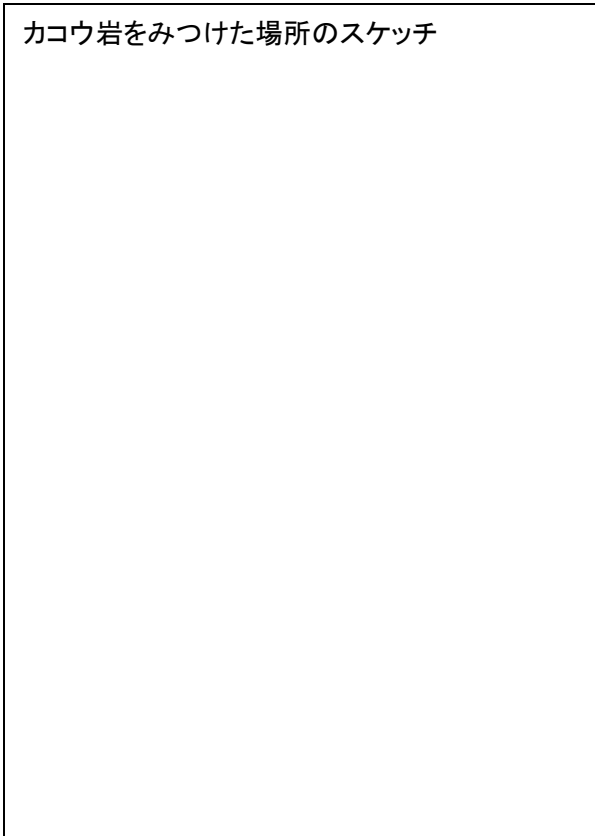


玄武岩/安山岩の拡大スケッチ



2cm

カコウ岩をみつけた場所のスケッチ



カコウ岩の拡大スケッチ



2cm

